**学校経営報告**

**達成率　　　　　　　90以上　高度に達成**

**80～89　ほぼ達成　　79以下　努力を要する**

**１『学力向上』を図るために（今年度の重点）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **目　　標** | **具体的取組計画** | **自己評価（・）課題と対応策（◎）** | **達成率** |
| ・基礎・基本の定着、学ぶ意欲の向上 | ・はちおうじっ子ミニマムを活用して社会生活に必要な基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。  ・ドリル型学習コンテンツの活用（漢字の習得　算数の学習内容の習熟など）  　　毎週水曜日の朝学習（ゴショスタ）で全学級実施。  ・算数科では東京方式習熟度別学習指導、ベーシックドリル、放課後補習（１・２年週１回）  ・家庭学習習慣の定着及び補充学習の推進  ・教育ボランティアの積極的な導入  ・大型テレビモニターなどICT機器を活用した授業展開を行う。（各クラス年間100回） | ・はちおうじっ子ミニマム（国語・算数）で、２回目に満点もしくは１回目との正答の差が３問以上あった児童が増えた。  ・タブレットを活用したドリル型コンテンツのミライシードについては、通信状態の関係で１・３・５年、２・４・６年と分けて実施することで全員が実施することができ、学力向上を図ることができた。  ・放課後の時間を活用し、積極的に補習を行い、基礎学力の定着を図った。  ・教育ボランティアは毎日複数名配置し、複数で授業の見守りを行うことができた。  ・モニター等ＩＣＴ機器を使っての授業展開はほぼ毎日行われ、個人貸与のタブレットも定期的に持ち帰り活用することができた。 | 80％ |
| ・活用能力、探究する力の育成 | ・問題解決的、課題解決的な学習の展開（総合的な学習の時間の充実）  ・外国語活動・外国語の充実（３・４年生３５時間、５・６年生７０時間）  　　外部人材を活用してのイングリッシュ・キャラバンの実施  ・地域人材、外部講師と連携する学習の推進  ・ＩＣＴを活用した授業の展開（タブレット型PCの活用） | ・各学年とも毎日Chromebookを活用しての授業展開ができた。オクリンクプラスやフィグジャム等を使い、協働的な学びを深める授業を展開した。  ・外国語活動・外国語の時間では、担任、講師、ＡＬＴでデジタル教科書を活用して授業を行うことができた。  ・東京都の外国語に触れる機会の創出事業を活用してイングリッシュ・キャラバンを実施し、４年生以上の児童に英語に興味・関心をもたせることができた。（２月１０日）  ・開智国際日本語学校との交流（２年）２月13日 | 90％ |
| ・感性や創造性を育む活動の充実 | ・「読書のまち八王子」の推進  学校司書（毎週木曜日勤務）や時間講師、図書ボランティアを活用して読書活動の充実を図る。  学校司書による読書啓発活動  保護者ボランティアによる各学級への読み聞かせ活動  Chromebookを活用して電子図書の利用  ・地域に学ぶ機会の拡充（郷土学習）  伝統文化体験　お囃子（３年）、車人形（４年）、華道（５年）、茶道（６年）織物のまち体験（３年）  地域環境を活用した学習活動（１・２年 昔遊び、地域巡り、４年 浅川の学習）  八王子空襲の話を聞く会（６年生）  八王子千人同心と宿泊学習との関連（５・６年） | ・保護者ボランティアの積極的な学校図書館への関わりや友好都市コーナーなど配置を工夫したことにより図書館利用が増えた。  ・地域に学ぶ郷土学習の全てを実施し、児童の郷土理解が進み、郷土愛をもたせることができた。  織物のまち体験（３年）６月６日　長田養蚕  　　　　　　　　　　　1月28日 はちはく  車人形（４年）２月17日  華　道（５年）12月３日  茶　道（６年）２月６、７日  地域環境を活用した学習活動  地域巡り（２年１月30日、３年２月28日）  浅川の学習（４年）６月３日  戦争体験語り部事業（６年生）12月17日  八王子千人同心と宿泊学習との関連  　静岡移動教室（５年）６月14日～15日  　日光移動教室（６年）８月25日～27日 | 90％ |

**２『心身ともの健やかさ（豊かな心の醸成）』を育むために**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ・自分を大切  　にし、他者  　を思いやる心の育成 | ・挨拶の習慣の定着  　毎朝、校門や昇降口で教員と挨拶を行うことで、挨拶の習慣を図る。また、地域に積極的に働き掛け、自然と挨拶ができるように声掛けをしてもらう。  　様々な活動の中で、挨拶運動を設ける。（代表児童委員会で自主的に計画）  ・異学年交流の推進  たてわり班活動を充実させ、上学年児童に模範を示す態度を、下学年児童には規範意識をそれぞれ身に付けさせる。（年間13回以上）  ・「特別の教科 道徳」の授業では、道徳教育全体計画に沿って、「節度・節制」「親切・思いやり」「友情・信頼」「生命の尊さ」「規則の尊重」を重点にし、『考え、議論する』授業を展開する。（各学級年間35回）  ・道徳授業地区公開講座の実施  ・人権教育を年間計画に沿って実施し、自他を思いやる心優しい児童を育てる。  ・「学校いじめ防止基本方針」に則ったいじめ防止に向けた取組  毎週１回のいじめ対策委員会の実施  「ふれあい月間」「八王子市いのちの大切さを共に考える日」の取組  ・不登校児童への支援  　家庭の支援ニーズの把握、共有  別室指導の教室を開設。指導員を配置し、安心して過ごすことができる居場所づくりをする。  ・「SNS東京ルール」の適切な使い方を身に付けさせる。  セーフティ教室（１～５年）  メディアリテラシー（６年）  ・みどり学級との交流活動  みどり学級と各学年の交流　特別支援教育研修の開催  ・キャリア教育の推進（自己理解、自己管理能力、人間関係形成、社会関係形成能力）  学校探検（１・２年）、町探検（３年）、夢さがし（４年）、職業調べ（５年）  職場訪問（６年）、生活科、総合的な学習の時間 | ・全教育活動において、挨拶を行う習慣を身に付けさせる活動を行うことで、挨拶ができる児童が増加した。  ・青少年対策地区委員会、町会・子供会の行事、放課後子ども教室など地域の方と関わる活動時に、気持ちのよい挨拶をして交流を図っている様子を見ることができた。  ・代表児童委員会が企画し、挨拶カードを提示して登校する児童によい挨拶を促す活動ができた。  ・たてわり班活動では、たてわり遊びやアクティブタイムで一緒に活動することで、信頼関係や尊敬の心をもつことができた。（１４回実施）  ・「特別の教科　道徳」を計画どおりに行い、児童の心の醸成を図ることができた。  ・道徳授業地区公開講座では、時間を分けて全学級授業公開を行い、講演会では、「子供のSOSの出し方」の講演を行い、保護者の方の好評を得た。  ・週１回必ず「いじめ対策委員会」を開催し、いじめの芽の早期発見に努め、重大事案を防ぎ、児童が安心して過ごせる学校づくりに努めた。  　　ふれあい月間の実施　６月、１１月、２月  　　　「八王子市いのちの大切さを共に考える日」に講話を行い、相談できる大人をつくる広報を行うことができた。  「ありがとういっぱいハート（６月）」「いじめについて考える道徳授業（11月）」「ふわふわ言葉川柳（２月）」の活動を通し、自他のよさを素直に認める行動を増やすことができた。  ・不登校児童への対策  　　　　別室指導員を配置したことで、別室指導の部屋での対応が毎日でき、教室での活動にも見守りをして帯同することができた。これにより安心して教室にいることができるようになった。  　　・セーフティ教室を予定どおり行うことで、自分の身の安全は自分で守る行動を身に付けることができた。また、スマホやPCの安全な使い方、ルールを改めて確認することができた。  　　　　LINE出前授業（６年）９月10日  　　　　セーフティ教室  （5年）　 12月4日　スマホ携帯安全教室  （1・2年）12月５日　不審者対応  （3年）　 12月10日　万引き防止  （4年）　 12月10日　お小遣いの使い方  ・みどり学級児童と所属学級との交流活動を意図的に設けることで、互いの理解が進んだ。  　　・キャリア教育の推進  　　　学校探検（１・２年）５月30日  町探検　（３年）　　２月28日  夢さがし（４年）　　　３学期  　　　　（４年）助産師出前授業　２月18日  職業調べ（５年）　　　３学期  キャリア教育講座（６年）10月15日 | 90％ |
| ・心身ともに健康な生活習慣を確立 | ・共生の視点を基盤とする「体育・体育的活動の充実」「健康教育」  がん教育（６年）、薬物乱用防止教室（６年）  ・家庭への啓発活動「食育」「基本的生活習慣」「規範意識」 | ・体育の授業や体育的活動、健康教育を通して、健康的な生活を目指す素地を養うことができた。  　　薬物乱用防止教室（６年）１２月４日  　　がん教育（６年）２月２２日  ・保護者の方に食についての理解を深めてもらうために、食育便りを毎月発行することができた。また、五小っ子ガイドを配布し、共育で児童を育てていくように促した。 | 80％ |
| ・危機回避能力を高める指導の充実 | ・防災・減災教育の推進（総合防災訓練（５月１８日）、避難訓練等の工夫・改善（毎月１回））  ・安全教育の推進（交通安全・不審者対応等）  ・登下校時の交通安全（地域による見守り）  　通学路を歩こう（１年）、交通安全教室（１年）  自転車安全教室（３年・５年） | ・年度の初め（５月１８日）に五小地区町会連絡会の協力の下で地域防災訓練を実施することができた。新しい体験もあり、児童の防災意識を高めるよい活動になった。今年は炊き出し訓練も行い、避難所訓練も行った。  ・毎月行われる避難訓練では、想定を熟考し、様々なタイプの訓練ができた。  ・地域の交通安全協会の方々にお願いし、交通安全教育を実施できた。  　　通学路を歩こう（１年）４月18日  交通安全教室　（１年）５月１日  自転車安全教室（３年）５月17日  （５年）２月18日 | 95％ |

**３『心身ともの健やかさ（体力向上、食育）』を育むために**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ・体力向上の取組  ・食育の取組 | ・体力調査を実施・分析し、必要な領域を日々の授業で重点指導する。  ・第五小学校２０２０レガシーの継承  アクティブタイム（年１０回）　オリパラクラブの設置　クライミングウォールの活用  福祉教育の一環としてパラリンピック競技の「ボッチャ」を使用した取組を行う。  ・スポーツ関係者を招聘し、運動に対する意欲を高める。（年２回以上）  ・持久力向上　ランランランニング（ランニング大会・２月１５日）  ジャンジャンジャンピング（短なわ、長なわ＜年3回の長なわ大会＞）  ・芝生を活用した体育授業の実践  ・全学級で栄養や食品に対する理解を深める授業を実践し、食育を推進する。  （１年各学級３回　２・４年各学級２回　３・５・６年各学級1回　年30回）  ・食の楽しさを味わわせるために、栄養士による様々な食育指導を行う。  （全学年給食時間に５分間指導、おはし大作戦、もったいない大作戦）  ・事前に栄養士による食育指導を受け、児童が昼の放送で広報活動を行う。（年１９２回）  ・学校保健委員会で健康に関する活動を行う。  ・みどり学級による八王子の特産物「パッションフルーツ」の栽培体験 | ・PTAボランティアの方の協力を得て、体力調査を実施し、PCに保存してある昨年度のデータと比較し、年間の体力向上計画を作成した。  ・五小２０２０レガシー  　　アクティブタイムでは、毎回違う運動を楽しんで行うことができた。（１０回実施）  　　オリパラクラブでは、オリンピック・パラリンピック競技を選び体験することができた。  ・アスリート等によるスポーツ体験・観戦  　　キャッチボールクラシック（５・６年）  　　　内藤 尚行氏（元プロ野球選手）１月23日  　　投げ方教室（３・４年）  三輪 正義氏（元プロ野球選手）２月13日  　　五小はちっ子マッチデイの開催  　　　八王子ビートレインズの観戦　１月１９日  ・地域町会、PTAの協力のもと、ランニング大会を実施し、めあてに向かって走り切る児童が多く、自己肯定感を高めることができた。ジャンジャンジャンピング期間では主に短なわの技の習得を一生懸命行っている姿があった。年３回の長なわ集会では、練習時から協力し、クラスが一体となるよい機会になった。  ・栄養士、養護教諭、給食主任がそれぞれの立場からの食育活動を行い、児童の食に関する大切さを理解することができた。  ・昼の食育放送は欠かさず行うことができ、児童の食への興味をもたせることができた。  ・保健委員会では、身体の仕組みについて映像制作をして放送し、児童に理解させることができた。  ・みどり学級の児童が果物の世話を行うことで、食物を育てる苦労と食への興味をもたせることができた。 | 95％ |

**４『保護者・地域と共に』歩むために**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **目　　標** | **具体的取組計画** | **自己評価（・）課題と対応策（◎）** | **達成率** |
| ・保護者・地域とのコミュニケーションの充実 | ・情報発信（Home＆Schoolの活用）  ・教育相談（スクールカウンセラー）の積極的な活用  ・学校評価の充実  ・授業アンケート、自己評価、行事ごとの保護者アンケート  ・家庭・地域の教育力の活用　教育ボランティアの整備（保護者・地域・学生等）  ・放課後の居場所づくり  町会の方々のご協力による「放課後子ども教室」の充実  　晴雨にかかわらず週５日間実施　長期休業期間中の実施  ・学習支援  年２回の漢字能力検定の実施  放課後補習の拡充・実施（３～６年・スマイル教室）  ・学校環境改善への協力・参加依頼  　芝生整備　ビオトープの管理  ・地域活動・行事への積極的な参加  ・近隣の幼稚園・保育園と互いの授業・保育を参観し、教職員の交流と情報の共有を図る。　（８月）  ・次年度入学予定の園児を招いて交流活動を行う。  （２学期） | ・ホームページの更新やHome＆Schoolでの情報発信を多くすることで、教育活動への理解を深める一端を担うことができた。  ・学校評価でいただいた意見をすぐに検討し、できることはすぐに実践することができた。  　　ex 行事写真のデジタル販売  ・学校行事ごとに必ずアンケートを取り、次年度に向けての改善計画を立てることができた。  ・教育活動、特に校外活動や集団での校内活動では、多くの保護者ボランティアに参加・協力いただき、充実した活動になった。  ・地域の見守り活動では、７３名の安全ボランティアの方が放課後子ども教室の見守り活動を実施してくださり、保護者のサポートを行っていただくことができた。  ・学校運営協議会主催による学習支援活動の充実  　　漢字能力検定では、意欲的に取り組み、多くの合格者を出した。  １回目（11月２日　５５人）  ２回目（２月15日　７７人）  　　放課後補習を３年生から６年生に拡大したことで、学習機会を増やすことができた。（スマイル教室）  ・千人保育園、多賀保育園との連携を図る活動を行うことができた。  千人保育園へ参観・保育活動体験、その後五小へ招いてのディスカッション（12月26日）  　　千人保育園来校（１・５年生と交流 １月26日）  　　多賀保育園来校（２月26日） | 90％ |
| ・小中一貫教育の推進 | ・七中・七小・山田小との交流  「小中一貫教育の日」を中心に授業参観や研修会、情報交換会の実施  （７月１２日、１０月１６日、２月１９日）  情報活用能力系統表を共同活用  小中共同で行う挨拶運動  はちおうじっ子サミットの推進  学力定着プロジェクトチームでの課題分析、手だて検討  地域活動への参加 | ・小中一貫教育の活動を広報することで、学校評価での認知度が昨年より９ポイント上がり、９７％になった。  　七中授業参観（６年、７月12日）  　４校の教員による授業参観  （五小、10月16日 山田小、２月19日）  　４校の教員による情報交換  （７月１２日、１０月１６日、２月１９日）  　中学生が母校に行っての小中合同挨拶運動  （１１月２５日～２７日）  　小中合同「はちおうじっ子サミット」への提言  　中学校合唱コンクールへの児童観覧、小学校教員の審査員派遣 （10月21日）  　生徒会を中心とした「エコキャップ運動」を合同実施した。 | 85％ |